

長野県 高校入試情報

令和7年度長野県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数4題、小問数は36問でほぼ例年通り。
- 大問1は小問集合、大問2は箱ひげ図、式による説明、三平方の定理と空間図形、大問3は関数の利用と図形との融合、大問4は相似の証明を含む三平方の定理の問題が出た。
- 大問3では関数の問題について、「グラフ」と「式」の2つの異なる考え方に沿って説明させる問題が出た。
- 全体的に、基本的な内容や手順が理解できているかをみる知識の問題や、長い文章やデータを読みとる力、表現力をみる問題の割合が高い。

★長野県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 読解力・表現力をみる問題の出題

新研究で対策！

・問題文をしっかりと読みとり、理由や考え方を説明する必要がある、読解力・表現力をみる問題がよく出題されている。落ち着いて取り組めるよう、解答形式に慣れておく必要がある。

●「数値を示そう！データを読みとって説明する問題」(p.172～173)、「書くことに慣れよう！いろいろな記述問題」(p.174～175)で、様々なパターンに取り組むことができます。

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

新研究で対策！

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理や多角形と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

●「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」(p.186～187)で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

記号選択式の問題も何問か出題されます。
正しい選択肢を見きわめる練習もしておこう。



★長野県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●			●
	方程式			●	
	比例と反比例	●	●	●	●
	平面図形	●	●	●	●
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容				
	式の計算		●	●	●
	連立方程式	●	●	●	●
	1次関数		●	●	●
	図形の調べ方	●	●	●	●
	三角形		●	●	
	平行四辺形	●	●		●
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図		●	●	●
	3年内容				
	式の計算		●	●	
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質	●	●		●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査	●			
出題形式別の傾向	大問数	4	4	4	4
	小問数	33	34	35	36
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1
		その他の説明・証明など	2	1	3
		立式・解法の過程の記述			
		作図(図形)	1	1	1
		作図(グラフ)			

★新研究で出題した長野県の入試問題(令和7年度)

p.49大問1,p.119大問4(1),p.141大問1(1),p.171大問3